

NEWS LETTER

14時30分解禁

平成27年5月 全国百貨店売上高概況

平成27年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,886億円余
2. 前年同月比	6.3% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	82社 239店 (平成27年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,057,026㎡ (前年同月比: -2.0%)
5. 総従業員数	78,288人 (前年同月比: -2.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -1.6%、11-1月 -1.8%、12-2月 -1.3% 1-3月 -8.6%、2-4月 -4.7%、3-5月 -3.1%

[参考] 平成26年5月の売上高増減率は-4.2% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

5月は前月同様、昨年の消費税率引き上げ後の買い控えの反動や休日の2日増などもあり、前年同月比6.3%増と2か月連続で売上を伸ばした。一昨年対比でも1.8%増を確保。地区別では、東京(+11.6%)、大阪(+8.4%)、名古屋(+8.1%)の三大都市圏が全体売上を牽引し、北海道地区を除く全ての地区でプラスを記録した。

商品別では、前月に続き主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)が全てプラスとなった。主力の衣料品は、月初から好天に恵まれ気温も高めに推移したことで、盛夏物を中心に動きが良く3.0%増。また、身のまわり品(+9.8%)や雑貨(+23.7%)も引き続き高い伸びを示している。

細分類では、天候条件や休日増に加え、株高や消費マインドの向上、インバウンド効果などを背景に、化粧品(+25.2%)、高級時計を軸にした美術・宝飾・貴金属(+38.0%)が変わらず好調を持続する一方、PB(プライベートブランド)商品や、付加価値を訴求する中軽衣料品、身のまわり品に動きが見られた。

なお、訪日外国人売上高は、中国や韓国、及びタイを中心とするASEAN諸国からの旅行客数が大きく伸長したことなどから、購買客数は246.3%増、売上高も過去最高の伸びとなる266.4%増を記録するなど増勢が続いている。

【要因】

- (1) 天候： 気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇本州付近は高気圧に覆われ、北日本の太平洋側と東日本の日本海側で、日照時間が5月として統計開始以来最も多く、南西からの暖かい空気が日本付近に流れ込んだこともあり全国的に気温はかなり高かった。
- (2) 営業日数増減 30.9日 (前年同月比+0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 13日 (// +2日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見える傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)
①増加した：37店、②変化なし：43店、③減少した：56店
- (5) 5月歳時記 (GW、こどもの日、母の日) の売上 (同上/有効回答数117店舗)
①増加した：34店、②変化なし：68店、③減少した：15店

NEWS LETTER

日本百貨店協会

全国百貨店 売上高速報 2015年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	488,654,863	100.0	6.3 (5.8)
10都市	328,589,737	67.2	8.2 (8.0)
札幌	12,058,646	2.5	7.1
仙台	6,546,156	1.3	2.8
東京	130,350,387	26.7	11.6
横浜	28,639,984	5.9	4.2
名古屋	30,999,880	6.3	8.1
京都	19,993,503	4.1	0.0 (-2.9)
大阪	61,445,531	12.6	8.4
神戸	12,635,049	2.6	6.5
広島	9,917,201	2.0	3.0
福岡	16,003,400	3.3	7.0
10都市以外の地区	160,065,126	32.8	2.6 (1.6)
北海道	2,335,999	0.5	-1.2
東北	7,653,476	1.6	0.7
関東	74,749,354	15.3	2.1
中部	12,132,296	2.5	2.8
近畿	21,294,933	4.4	2.6
中国	10,987,708	2.2	2.9
四国	8,001,361	1.6	4.4
九州	22,909,999	4.7	4.3 (-2.4)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	488,654,863	100.0	6.3 (5.8)
紳士服・洋品	37,063,866	7.6	4.5 (4.2)
婦人服・洋品	106,975,803	21.9	1.6 (1.1)
子供服・洋品	13,373,998	2.7	5.5 (5.4)
その他衣料品	11,702,003	2.4	9.3 (8.7)
衣 料 品	169,115,670	34.6	3.0 (2.6)
身のまわり品	68,240,162	14.0	9.8 (9.4)
化粧品	32,603,111	6.7	25.2 (24.9)
美術・宝飾・貴金属	28,224,881	5.8	38.0 (37.7)
その他雑貨	18,827,217	3.9	5.3 (4.1)
雑 貨	79,655,209	16.3	23.7 (23.1)
家具	5,590,468	1.1	6.8 (6.6)
家電	1,390,910	0.3	8.9 (8.7)
その他家庭用品	16,448,561	3.4	6.9 (6.5)
家 庭 用 品	23,429,939	4.8	7.0 (6.7)
生鮮食品	24,960,469	5.1	-1.4 (-2.2)
菓子	30,237,676	6.2	-2.9 (-3.3)
惣菜	27,732,853	5.7	1.6 (1.1)
その他食料品	34,539,973	7.1	3.8 (3.0)
食 料 品	117,470,971	24.0	0.4 (-0.2)
食堂 喫茶	14,822,684	3.0	3.0 (2.7)
サ ー ビ ス	6,009,337	1.2	5.7 (5.5)
そ の 他	9,910,891	2.0	-1.4 (-2.2)
商 品 券	11,259,474	2.3	-6.7 (-6.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 8.2% (店舗数調整後/2か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 2.6% (店舗数調整後/2か月連続プラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	8.2	5.4	2か月連続プラス
札幌	7.1	0.2	2か月連続プラス
仙台	2.8	0.0	2か月連続プラス
東京	11.6	2.9	2か月連続プラス
横浜	4.2	0.3	2か月連続プラス
名古屋	8.1	0.5	2か月連続プラス
京都	+0.0	0.0	2か月連続プラス
大阪	8.4	1.0	2か月連続プラス
神戸	6.5	0.2	2か月連続プラス
広島	3.0	0.1	2か月連続プラス
福岡	7.0	0.2	2か月連続プラス
10都市以外の地区	2.6	0.9	2か月連続プラス
北海道	-1.2	0.0	2か月ぶりマイナス*
東北	0.7	0.0	2か月連続プラス*
関東	2.1	0.3	2か月連続プラス
中部	2.8	0.1	2か月連続プラス
近畿	2.6	0.1	2か月連続プラス
中国	2.9	0.1	2か月連続プラス*
四国	4.4	0.1	2か月連続プラス
九州	4.3	0.2	2か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目が2か月連続でプラスとなった。中でも雑貨は先月に続き二桁のプラスとなった。また、その他の品目も生鮮食品と菓子を除く全品目が2か月連続のプラスとなり、化粧品と美術・宝飾・貴金属は二桁プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	6.3	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	4.5	0.3	2か月連続プラス
婦人服・洋品	1.6	0.4	2か月連続プラス
子供服・洋品	5.5	0.2	2か月連続プラス
その他衣料品	9.3	0.2	2か月連続プラス
衣料品	3.0	1.1	2か月連続プラス
身のまわり品	9.8	1.3	2か月連続プラス
化粧品	25.2	1.4	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	38.0	1.7	2か月連続プラス*
その他雑貨	5.3	0.2	2か月連続プラス*
雑貨	23.7	3.3	2か月連続プラス
家具	6.8	0.1	2か月連続プラス
家電	8.9	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	6.9	0.2	2か月連続プラス
家庭用品	7.0	0.3	2か月連続プラス
生鮮食品	-1.4	-0.1	14か月連続マイナス*
菓子	-2.9	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	1.6	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	3.8	0.3	2か月連続プラス*
食料品	0.4	0.1	2か月連続プラス
食堂喫茶	3.0	0.1	2か月連続プラス
サービス	5.7	0.1	2か月連続プラス
その他	-1.4	0.0	2か月ぶりマイナス
商品券	-6.7	-0.2	51か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

NEWS LETTER

平成27年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 303億円余
2. 前年同月比	11.6% (2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭11.9%(90.4%) : 非店頭9.2%(9.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,715㎡ (前年同月比:0.0%)
6. 総従業員数	19,330人 (前年同月比:0.4%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 0.2%、11-1月 0.4%、12-2月 1.7%、 1-3月 -5.1%、2-4月 -0.8%、3-5月 1.1%

[参考] 平成26年5月の売上高増減率は-4.3% (店舗数調整後)

【5月上の特徴】

- (1) 5月の入店客数は、月を通して好天に恵まれたこと、休日が2日増だったことなどを背景に2%強のプラスとなった。
- (2) 商品別では、主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)がすべてプラス。主力の衣料品(+6.7%)をはじめ、身のまわり品(+19.3%)、雑貨(+31.2%)、家庭用品(+11.8%)も総じて好調に推移。総額では11.6%増となり2か月連続で2桁増を記録した。
- (3) 細分類では、株価安定や景気回復感による国内需要の高まりを受け、化粧品(+40.9%)や高級時計を中心とする美術・宝飾・貴金属(+39.9%)が好調を継続。外国人観光客については引き続き旺盛な消費意欲を見せている。なお、一部店舗からは日本の文化や技術力を感じさせる浴衣や包丁などに人気が集まっているとの報告も受けている。
- (4) 個別アイテムでは、紳士服はパターンオーダーや高価格帯スーツ、婦人服は今夏トレンドのワイドパンツやガウチョパンツなどに動きが見られた。また、平均気温が高めに推移したことでサンダル、パラソル、UV化粧品、フレグランスなど盛夏物が好調。半面、好天やそれに伴う気温上昇の影響によりレイングッズや洋菓子などが不調に終わった。
- (5) 6月の商況は、16日段階で6%強のプラスで推移している。中元ギフトについては全体的に堅調で、特にインターネット受注の伸びが顕著となっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 8店、②変化なし: 5店、③減少した: 5店
- (3) 5月歳時記(GW、こどもの日、母の日)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 8店、②変化なし: 6店、③減少した: 0店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2015年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	130,350,387	100.0	11.6
紳士服・洋品	12,585,117	9.7	7.5
婦人服・洋品	25,187,325	19.3	4.7
子供服・洋品	2,688,124	2.1	10.5
その他衣料品	2,528,866	1.9	20.5
衣 料 品	42,989,432	33.0	6.7
身のまわり品	20,053,381	15.4	19.3
化粧品	9,515,763	7.3	40.9
美術・宝飾・貴金属	8,830,160	6.8	39.9
その他雑貨	5,835,813	4.5	8.8
雑 貨	24,181,736	18.6	31.2
家 具	1,564,815	1.2	1.8
家 電	841,317	0.6	8.2
その他家庭用品	4,825,581	3.7	16.2
家 庭 用 品	7,231,713	5.5	11.8
生 鮮 食 品	4,604,804	3.5	1.4
菓 子	7,177,358	5.5	-1.0
惣 菜	6,424,976	4.9	3.8
その他食料品	8,573,876	6.6	8.8
食 料 品	26,781,014	20.5	3.5
食 堂 喫 茶	3,315,177	2.5	5.2
サ ー ビ ス	2,615,209	2.0	6.8
そ の 他	3,182,725	2.4	-4.2

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,392,602 千円	-7.2
従 業 員 数	19,330 人	0.4
店 舗 面 積	856,715 m ²	0.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

NEWS LETTER

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全国同様全品目が2か月連続でプラスとなった。中でも身のまわり品、雑貨、家庭用品は先月に続き二桁のプラスとなった。また、その他の品目も菓子を除く全品目がプラスとなった。家具が14か月ぶり、その他が2か月連続のプラスとなり、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品は二桁プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	11.6	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	7.5	0.8	2か月連続プラス
婦人服・洋品	4.7	1.0	2か月連続プラス
子供服・洋品	10.5	0.2	2か月連続プラス
その他衣料品	20.5	0.4	2か月連続プラス
衣料品	6.7	2.3	2か月連続プラス
身のまわり品	19.3	2.8	2か月連続プラス
化粧品	40.9	2.4	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	39.9	2.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	8.8	0.4	2か月連続プラス*
雑貨	31.2	4.9	2か月連続プラス
家具	1.8	0.0	14か月ぶりプラス
家電	8.2	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	16.2	0.6	2か月連続プラス
家庭用品	11.8	0.7	2か月連続プラス
生鮮食品	1.4	0.1	2か月連続プラス*
菓子	-1.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
惣菜	3.8	0.2	2か月連続プラス*
その他食料品	8.8	0.6	2か月連続プラス*
食料品	3.5	0.8	2か月連続プラス
食堂喫茶	5.2	0.1	2か月連続プラス
サービス	6.8	0.1	2か月連続プラス
その他	-4.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-7.2	-0.2	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>